

馬天小学校平和学習

沖縄戦から「戦争のすすめ方・つくり方」を 考えてみましょう



2026年7月7日
琉球大学教育学部
山口剛史（やまぐちたけし）

みなさんは、これまで沖縄戦について、調べ学習をしたり、先生と一緒に勉強してきましたね。今日の学習では、そのことも使って一緒に沖縄戦について学んでいきましょう。

これまでの学びでのみなさんの疑問は

5年生の疑問

- せんごはどうしていたの？
- どうしてせんそうがおきたの？
- たべものはどうしていたの？
- みょうじはどうしてかえられたの？
- なんでせんそうするの？
- なんで昔は方言をいってはいけないのか？

みなさんは、これまで沖縄戦について、調べ学習をしたり、先生と一緒に勉強してきましたね。今日の学習では、そのことも使って一緒に沖縄戦について学んでいきましょう。

これまでの学びでのみなさんの疑問は

6年生の嘉数高台での疑問

- なぜ少年兵まで使って戦ったのか？（国家総動員法）
- どうしていろいろな人が戦いにいかされた理由もわかったし、そういう**法律を作ったから**と分かって、なんでそういう法律を作ったのか、だれが作ったのかしらりたいです。
- 昔の日本は子どもをつかって、戦争にばくだんをもたして殺されたりざんぎゃくと思う。
- 日本は戦争にこだわりすぎて人や食料、自由もうばわれてしまっていたからとても私がそうぞうしていた戦争とかけはなれすぎておどろきました。
- 沖縄全体が命がけで戦っているのがわかった。
- 子どもたちがりふじんにはたらかされている。
- 子どもの未来をつぶすなんてひどすぎると思った。
- 昔の日本には**おかしいほうりつ**があり、みんなその法律にしたがわされていた。

みなさんは、これまで沖縄戦について、調べ学習をしたり、先生と一緒に勉強してきましたね。今日の学習では、そのことも使って一緒に沖縄戦について学んでいきましょう。

これまでの学びでのみなさんの疑問は

6年生の嘉数高台での疑問

- ・今日の学習で、昔の学校は「国のために死んでも戦いなさい」と教育されていたことがわかりました。「死んでも」という言葉にひかない昔の子どもはすごいなと思いました。国のためだけど人のためより自分の命を優先したほうがいいと思います。国も大事！けど国より優先なのは自分の命。私は死んでも戦う気はあまりありません。いざとなったときはがんばる、がんばりたい！！

- ・老人や子どもを使ってまで、深い陣地壕や戦争に勝ちたかったのか不思議だと思います。

今日みなさんに考えてほしいことがあります。
何人かの疑問にでてきましたが、「ほうりつ」「きょういく」というキーワードが
でてきていましたね。
みんな自主的にがんばったわけではなく、戦争をすすめるためのしくみがあったこ
とを6年生は発見してくれています。

そこで、今日の学習では

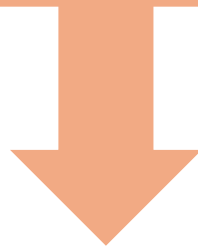
「沖縄戦の時、戦争をすすめる・続けていくために、必要なこ
とは何だっただろう？」

これまで、勉強したことを使って（もしくは自分なりに予想して）、戦争をすすめたい人たちはどんな
ことを考え、どんな準備をして、戦争をすすめていったと思いますか？あなたの予想を出しましょう。

みなさんは、これまで沖縄戦について、調べ学習をしたり、先生と一緒に勉強してきましたね。今日の学習では、そのことも使って一緒に沖縄戦について学んでいきましょう。

まず、みなさんに考えてほしいことがあります。

「沖縄戦の時、戦争をすすめる・続けていくために、必要なことは何だっただろう？」



今日のめあて

沖縄戦の様子から「戦争をすすめるのに必要なこと」を考え、平和のつくり方のヒントを見つけよう

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

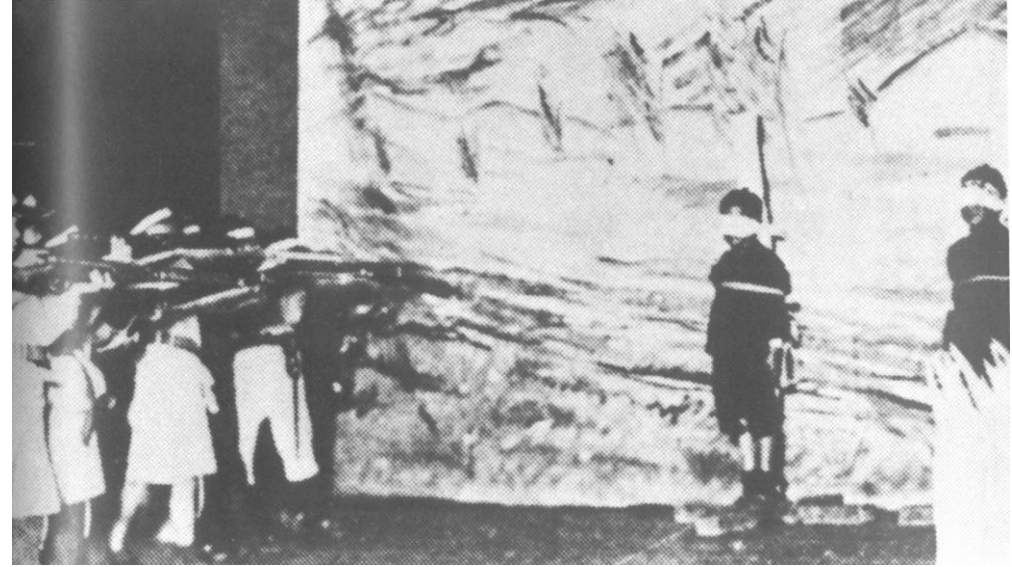
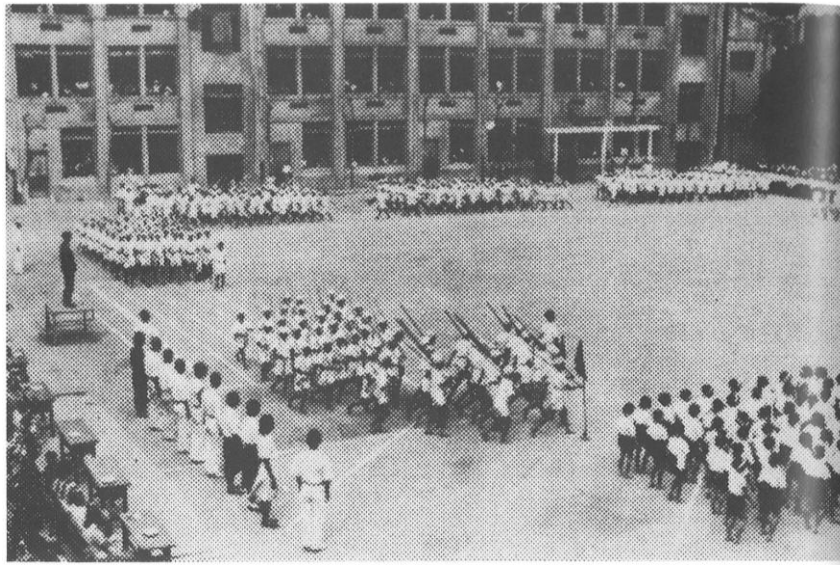
考えてみよう1

沖縄戦の時の学校では、①戦争に参加・協力するように教えた

②戦争はダメで逃げるように教えた

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：当時の学校教育

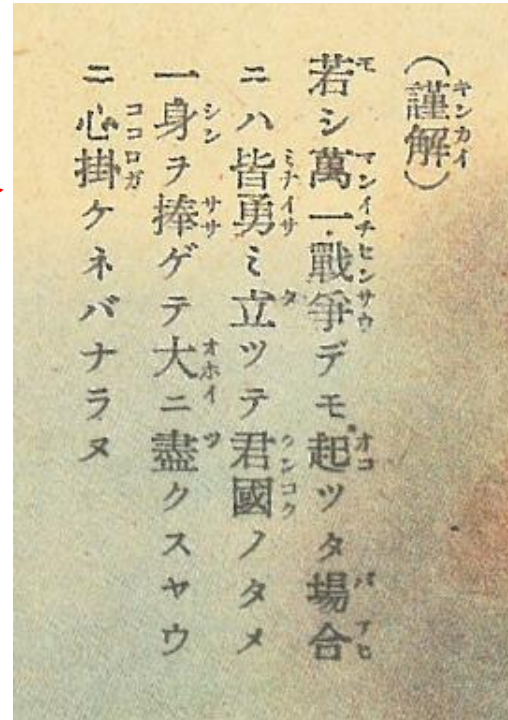


() () ()

それぞれ何をしているところだろう。
どんなことを教えようとしているのだろう。

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：当時の学校教育



これは、「教育勅語」という、天皇から子ども達への言葉です。当時子どもたちは、この言葉を暗唱していました。

多くの子ども達にとって、兵隊に行くことは、立派な大人の手本であったのです。

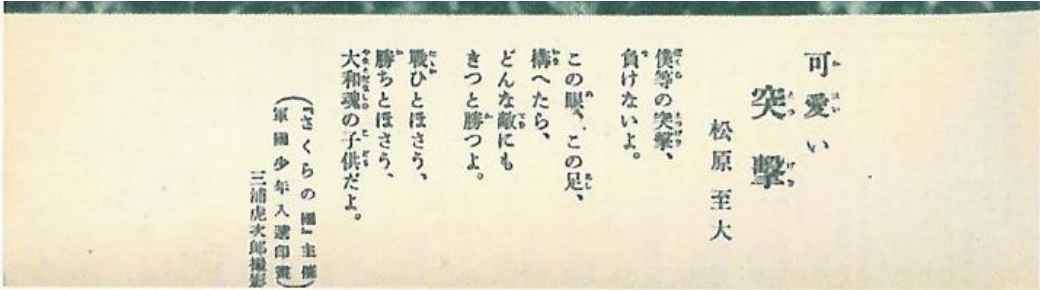
どんな考えを教えようとしているのだろう。

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

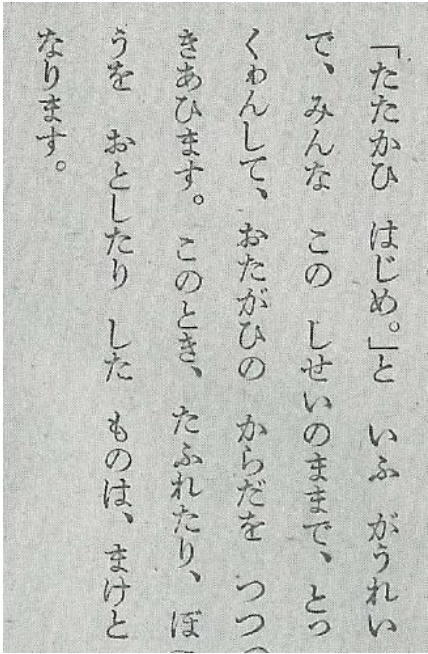
見てみよう：当時の雑誌には



「家の光」昭和13年（1938年）4月号、産業組合中央会



「家の光」昭和13年（1938年）4月号、産業組合中央会



「良い子の友」昭和18年（1943年）2月号（小学館）から「ゆくわいな あそび たいあたり せんさう」。この遊び、実際に「呐喊」をやってみると自らコケる可能性が大なので、良い子はマネをしてはいけません。

どんな考えを子どもにもってほしいのだろう。

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

考えてみよう1

沖縄戦の時の学校では、①戦争に参加・協力するように教えた

②戦争はダメで逃げるように教えた

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

考えてみよう2

沖縄戦の時の県知事は、①戦争に参加・協力するようすすめた
②戦争はダメで逃げるようにすすめた

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：県知事が県民に呼びかけたこと

醜敵撃滅の歩武を進む／全県民へ総発進の号令／島田知事一問一答

郷土を死守せよ／勤人階級の態度戒む

〈問〉全県民に対し警告すべきことがあるなら承りたい。

〈答〉一言にして言えば沖縄を護れ、即ち皇土護持の精神昂揚に全県民一丸となつて邁進して貰いたい、県下各地の農村を視察したが農民諸君は実に悠然と且つ果敢に増産戦線に踏みとどまり頑張り抜いてゐる、まことに感謝感激に堪へない、ところが所謂勤め人階級の態度はどうか、断乎職場に腰を下ろした毅然たる態度を遺憾乍ら見受けることが出来ない、中にはへっぴり腰で疎開手続き用箋をもち廻って騒然たる醜態を露呈してゐるものもある、何たるざまだ、それで皇国民として恥ぢないのか、そこで主として従来文化人に叫びかけたい、職場を守れ、断乎職場を守れ職場から、決戦場沖縄から一步も退くな。

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：県知事が県民に呼びかけたこと

醜敵撃滅の歩武を進む／全県民へ総発進の号令／島田知事一問一答

全県民へ総発進の号令

郷土を死守せよ／勤人階級の態度戒む

一言にして言えば沖縄を護れ

〈問〉全県民に対し警告すべきことがあるなら承りたい。

〈答〉一言にして言えば沖縄を護れ、即ち皇土護持の精神昂揚に全県民一丸となつて邁進して貰いたい、県下各地の農村を視察したが農民諸君は実に悠然と且つ果敢に増産戦線に踏みとどまり頑張り抜いてゐる、まことに感謝感激に堪へない、ところが所謂勤め人階級の態度はどうか、断乎職場に腰を下ろした毅然たる態度を遺憾乍ら見受けることが出来ない、中にはへっぴり腰で疎開手続き用箋をもち廻って騒然たる醜態を露呈してゐるものもある、何たるざまだ、それで皇国民として恥ぢないのか、そこで主として従来文化人に叫びかけたい、職場を守れ、断乎職場を守れ職場から、決戦場沖縄から一步も退くな。

職場を守れ、断乎職場を守れ職場から、決戦場沖縄から一步も退くな。

沖縄新報の昭和20年2月21日の記事

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：警察部長が県民に呼びかけたこと

敵粉碎の心構へ／戦列離脱者を取締る

ついで記者は荒井警察部長と対談

〈問〉県民へ決戦訓を承りたい

〈答〉沖縄に醜敵の進行がない等と楽観してはいけない、むしろ待ち構えて粉碎するという覚悟が必要だ、この秋最も緊急なことは、義勇隊の早急な結成である、そこから戦列離脱者に警告したい、死ぬのは誰でもいやである、しかし皇国のために殉じ恒久の正義に就く日本民族の血を顧みた時、決戦場沖縄に頑張り皇土保持に挺身することを光栄と思わなければならない。

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：警察部長が県民に呼びかけたこと

敵粉碎の心構へ／戦列離脱者を取締る

戦列離脱者を取締る

ついで記者は荒井警察部長と対談

むしろ待ち構えて粉碎するという覚悟

〈問〉県民へ決戦訓を承りたい

〈答〉沖縄に醜敵の進行がない等と楽観してはいけない、むしろ待ち構えて粉碎するという覚悟が必要だ、この秋最も緊急なことは、義勇隊の早急な結成である、そこから戦列離脱者に警告したい、死ぬのは誰でもいやである、しかし皇国のために殉じ恒久の正義に就く日本民族の血を顧みた時、決戦場沖縄に頑張り皇土保持に挺身することを光栄と思わなければならない。

死ぬのは誰でもいやである、しかし皇国のために殉じ恒久の正義に就く日本民族の血を顧みた時、決戦場沖縄に頑張り皇土保持に挺身することを光栄と思わなければならない。

沖縄新報の昭和20年2月21日の記事

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

考えてみよう2

沖縄戦の時の県知事は、①戦争に参加・協力するようすすめた
②戦争はダメで逃げるようにすすめた

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

考えてみよう3

沖縄戦の時の佐敷村の村長、部落の区長は、

- ①戦争に参加・協力するよう命令した
- ②各自、自由に行動するようすすめた

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：佐敷村、区長が村民にしたこと

楚南和子1928年（昭和3）11月生まれ 屋比久集落の方
知念村知名に三角兵舎があって、そこでは壕掘りをさせられました。
役場からの割り当てで、この字は何人、あの字は何人、何日の何時にどこそこに集まれ、
と区長を通じてきました。青年団からも徴用の連絡がきたりで、大変でしたね。

外間シズ1917年（大正6）8月生まれ 屋比久集落の方
1944年、私たちは屋比久や手登根の裏山の壕を行ったりきたりして生活していましたが、その壕に字の区長が回ってきて、男も女も働けるものは皆徴用に出されました。各
字から何人と割り当てられ、必ずその決められた人数をだすことになっていたのです。

（佐敷町史 4戦争 より）

徴用（ちょうよう）とは、軍隊の仕事をさせられることです。お金や食料がもらえることもありましたが、多くは給料などではなく手伝わされました。

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：佐敷村、区長が村民にしたこと

楚南和子1928年（昭和3）11月生まれ 屋比久集落の方
知念村知名に三角兵舎があって、そこでは壕掘りをさせられました。
役場からの割り当てで、この字は何人、あの字は何人、何日の何時にどこそこに集まれ、
と区長を通じてきました。青年団からも徴用の連絡がきたりで、大変でしたね。

外間シズ1917年（大正6）8月生まれ 屋比久集落の方
1944年、私たちは屋比久や手登根の裏山の壕を行ったりきたりして生活していましたが、その壕に字の区長が回ってきて、男も女も働けるものは皆徴用に出されました。各字から何人と割り当てられ、必ずその決められた人数をだすことになっていたのです。

（佐敷町史 4戦争 より）

徴用（ちょうよう）とは、軍隊の仕事をさせられることです。お金や食料がもらえることもありましたが、多くは給料などではなく手伝わされました。

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

考えてみよう3

沖縄戦の時の日本軍は、①戦争に参加・協力するよう命令した

②戦争はダメで逃げるよう命令した

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：日本軍の考え方



「軍人勅諭」（天皇が軍人一人一人に心がまえをのべた言葉）

抑（そもそも）国家を保護し国権を維持（ゆいじ）するは兵力に在（あ）れば、兵力の消長は是（これ）国運の盛衰なることを弁（わきま）へ、世論（せいろん）に惑わず政治に拘らず、只々一途（いちず）に己（おのれ）が本分の忠節を守り、**義は山嶽よりも重く、死は鴻毛（こうもう）よりも軽しと覚悟せよ。**



兵士の死は、鳥の羽よりも軽いという意味です。この考えを一人一人の兵士に教えました。

何を県民に求めたのだろう。

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：日本軍の考え方

「戦陣訓」（せんじんくん）

第七 生死観

死生を貫くものは崇高なる献身奉公の精神なり。
生死を超越し一意任務の完遂に邁進すべし。身心一切の力を尽くし、従容として悠久の大義に生くることを悦びとすべし。

第八 名を惜しむ

恥を知る者は強し。常に郷党家門の面目を思ひ、愈々奮励して其の期待に答ふべし。生きて虜囚の辱を受けず、死して罪禍の汚名を残すこと勿れ。

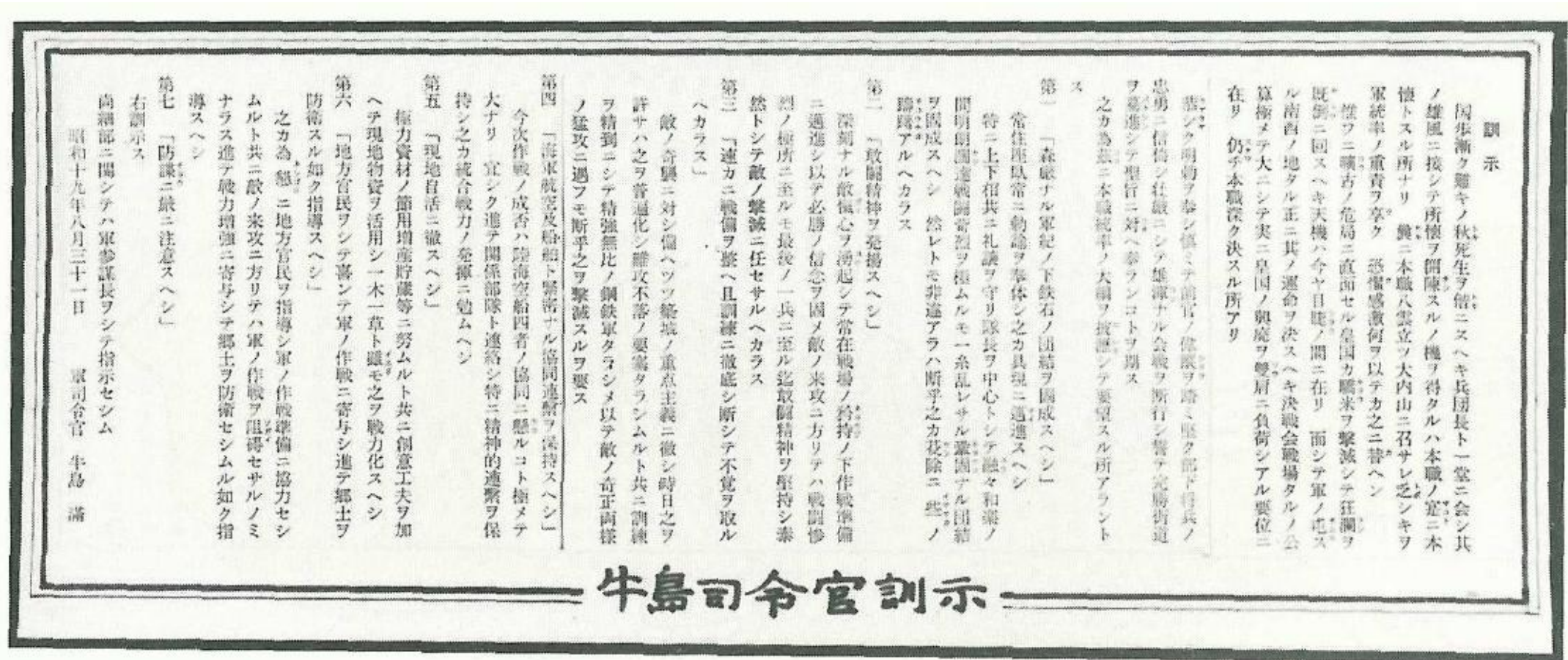
「捕虜になることは恥ずかしいことであるので、捕虜になるくらいだったら死になさい」

という教育が軍隊の中で、行われるようになりました。それは、「〇〇家の恥」として、捕虜になって帰った兵隊のお家は、まわりから白い目で見られるようになったのです。

何を県民に求めたのだろう。

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

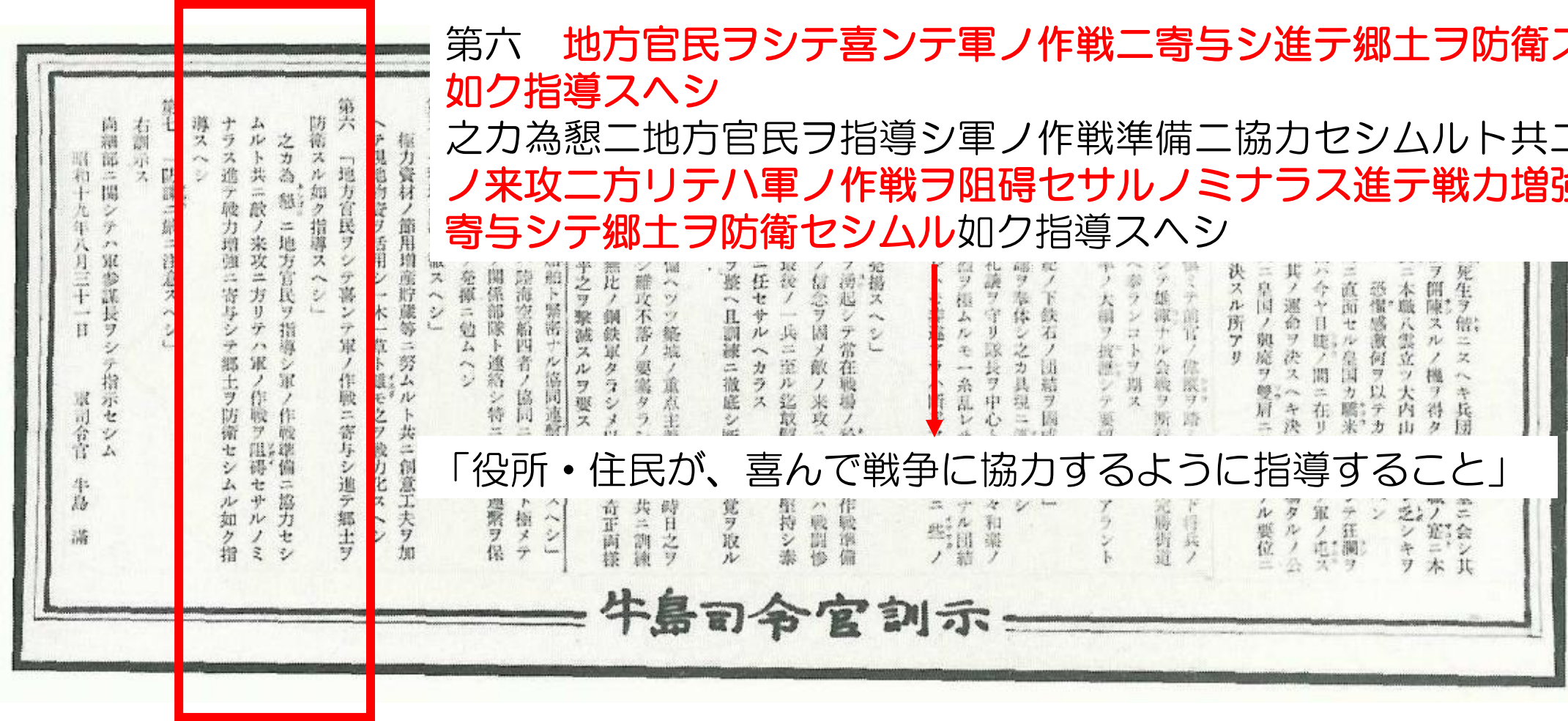
見てみよう：日本軍の考え方



何を県民に求めたのだろうか。

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

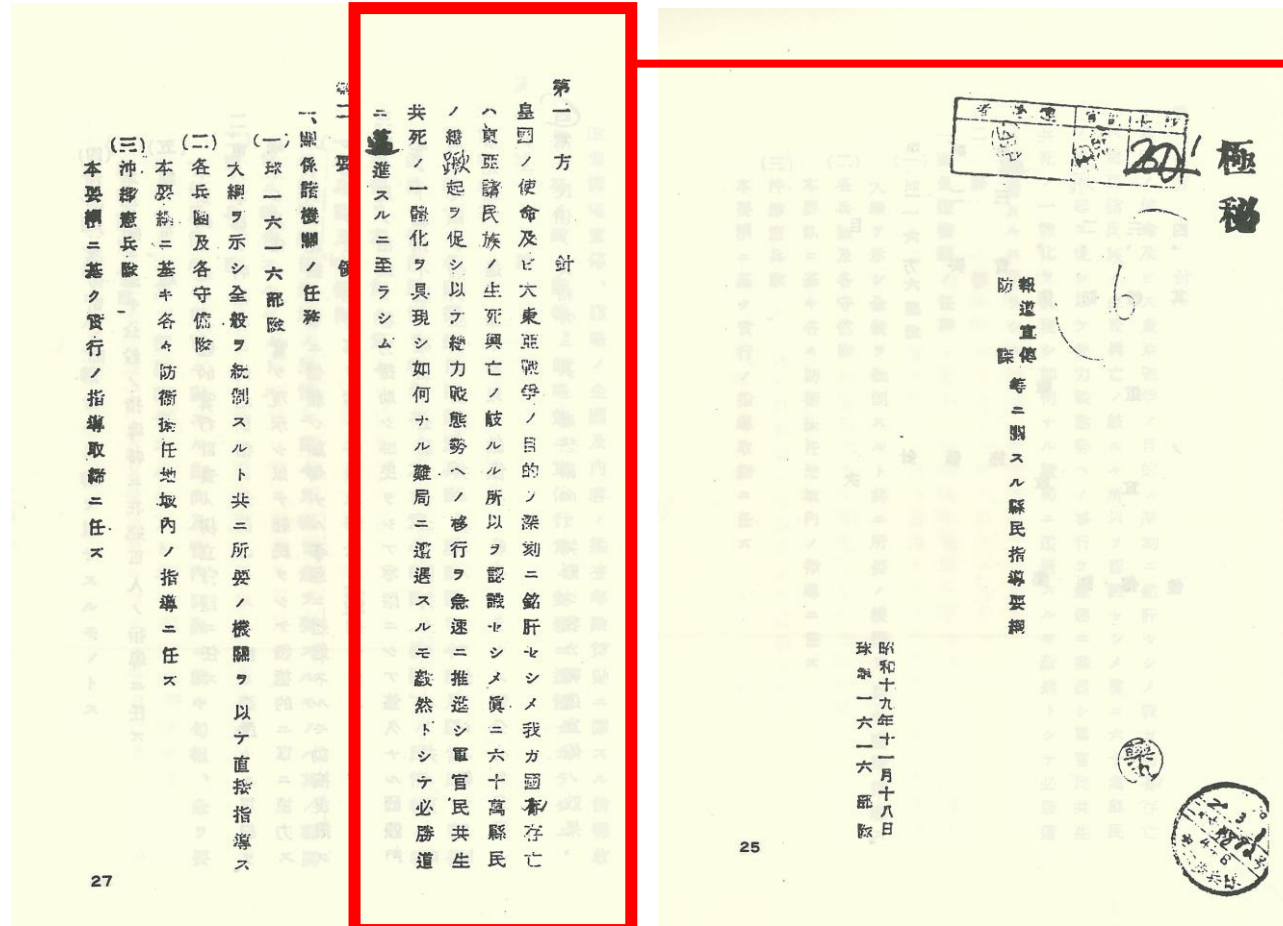
見てみよう：日本軍の考え方



何を県民に求めたのだろうか。

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：日本軍の考え方



皇国の使命及び大東亜戦争の目的を深刻に銘肝せしめ我が国奮存亡は東亞諸民族の生死興亡の岐るる所以を認識せしめ眞に六十万県民の総決起を促し以て総力戦態勢への移行を急速に推進し**軍官民共生共死の一体化を具現し**如何なる難局に遭遇するも毅然として必勝道に進ずるに至らしむ

軍隊の作戦に協力し、一緒に沖縄での作戦を戦うこと、軍隊と県民は共に生き、共に死ぬという考えを宣伝するようすすめられていたのです。沖縄戦の中で、住民は守ってもらう存在ではなく、一緒に戦って、軍隊とともに死ぬ存在として、軍隊から考えられていたのです。

何を県民に求めたのだろうか。

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：日本軍が村民にしたこと

山城静衛1915年1月生まれ 屋比久集落の方

戦争が激しくなってから役場からでなくて、私は直接、独立混成44旅団の部隊から呼び出されて、首里のおお生で弾薬運びをさせられた。玉城の糸数から、安里（那覇）の上の方にあった日本軍の機関銃隊の陣地壕（米軍はシュガーローフと呼んだ）まで、男も女も弾の入った木箱を担がされて何回も往復した。

楚南和子1928年（昭和3）11月生まれ 屋比久集落の方

沖縄本島に米軍が上陸すると、私たちは、友軍の弾薬運搬に動員されました。玉城村親慶原から那覇の壺屋まで運べという命令です。

弾薬運搬には、村の17歳以上の男女は全員駆り出されました。私達のような子どもから、男の人たちは年寄りまで、それは義勇隊と呼ばれていました。

與那嶺シズエ1930年（昭和5）4月生まれ

米軍が上陸して間もなく、各字から5人ずつ弾薬の運搬作業が割り当てられ、私の母にもそれが回ってきました。幼い子どもを抱えていた母はとても困っていました、結局、当時15歳だった私が行くことになりました。

（佐敷町史 4戦争 より）

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：日本軍が村民にしたこと

山城静衛1915年1月生まれ 屋比久集落の方

戦争が激しくなってから役場からでなくて、私は直接、独立混成44旅団の部隊から呼び出されて、首里のおお生で弾薬運びをさせられた。玉城の糸数から、安里（那覇）の上の方にあった日本軍の機関銃隊の陣地壕（米軍はシュガーローフと呼んだ）まで、男も女も弾の入った木箱を担がされて何回も往復した。

楚南和子1928年（昭和3）11月生まれ 屋比久集落の方

沖縄本島に米軍が上陸すると、私たちは、友軍の弾薬運搬に動員されました。玉城村親慶原から那覇の壺屋まで運べという命令です。

弾薬運搬には、村の17歳以上の男女は全員駆り出されました。私達のような子どもから、男の人たちは年寄りまで、それは義勇隊と呼ばれていました。

與那嶺シズエ1930年（昭和5）4月生まれ

米軍が上陸して間もなく、各字から5人ずつ弾薬の運搬作業が割り当てられ、私の母にもそれが回ってきました。幼い子どもを抱えていた母はとても困っていました、結局、当時15歳だった私が行くことになりました。

（佐敷町史 4戦争 より）

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

考えてみよう3

沖縄戦の時の日本軍は、①戦争に参加・協力するよう命令した

②戦争はダメで逃げるよう命令した

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

考えてみよう4

戦争が続くウクライナではどうだろうか？

ウクライナの大統領は、①戦争に参加・協力するよう命令した

②戦争はダメで逃げるよう命令した

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：ウクライナでおこっていること

緊急出版!

ゼレンスキー大統領、 世界に向けた魂の演説集

望まぬ戦争でウクライナ人は命を落とす。
世界と未来のために。

「ウクライナ侵攻」分析題



ロシア軍の侵攻から1日目（2022年2月24日）に大統領が市民に向けて行った演説から見てみましょう。

ウクライナ人に何ができるでしょう？我が国の軍を支援し、ウクライナ軍や領土防衛隊に入りましょう。戦闘経験がある人は、誰でも役に立ちます。私たちの独立国家の領域に敵が侵入するかしらないかは、私たちすべてに委ねられています。ボランティアと医療機関を支援してください。例えば、献血をするなどして。

「ゼレンスキー大統領、世界に向けた魂の演説集」扶桑社より

ゼレンスキー大統領は国民に何を求めていますか？

沖縄戦の出来事から考える「戦争をすすめるのに必要なこと」

見てみよう：ウクライナでおこっていること

FORUM18

OSLO, NORWAY

信じ、崇拝し、目撃する権利
自分の信念や宗教を変える権利
団結して自分の信念を表現する権利

🌐📘🐦📡

検索

日本語

Powered by Google 翻訳
Google機械翻訳

ニュース 分析 解説 だいたい コンタクト 購読 寄付

ウクライナ：良心的兵役拒否者が投獄される

2023年2月27日
フェリックス・コーリー、フォーラム18

イバノフランクウスク警察は2月23日、46歳のキリスト教良心兵役拒否者ヴィタリー・アレクセンコ氏を拘留し、戦時中の軍への召集を拒否した罪で、1年間の懲役刑に服することを決定した。代替の文民奉仕を求める彼の要求は無視され、彼は最高裁判所に控訴した。国防省は、戦時中に代替任務は存在しないと主張している。同氏は、ロシアによる2022年のウクライナ侵攻再開以来、投獄された初の良心的兵役拒否者となった。裁判所は少なくとも他の6人に執行猶予付きの懲役刑を言い渡した。

ロシアによるウクライナ再侵攻1周年の前日である2月23日、南西部イバノフランクウスク市のウクライナ警察は、46歳のキリスト教良心的兵役拒否者ヴィタリー・アレクセーエンコを拘留し、1年間の懲役刑を開始した。戦争時に軍隊への召集を拒否することを指す言葉。代わりの民間奉仕を行うという彼の要求は無視された。ウクライナ国防省は、戦時中に代替任務は存在しないと主張している。

アレクセンコ氏は、ウクライナ当局が投獄したことが知られている最初の良心的兵役拒否者である。2022年2月にロシアが再びウクライナ侵攻を開始して以来、裁判所は少なくとも他の良心的兵役拒否者6人に執行猶予付きの懲役刑を言い渡した（下記参照）。

2月23日朝、警察はアレクセンコさんを健康診断のため診療所に連れて行った。その後、警察官らは彼をイバノフランクウスクの捜査刑務所に連行したと、ウクライナ平和主義運動書記のユーリー・シェリアジェンコ氏が首都キエフからフォーラム18に語った。「ヴィタリーさんは刑務所で福音書と新約聖書を読み、平和と正義、そしてウクライナのより良い変化を祈るだろうと私に語った」とシェリアジェンコさんは付け加えた（下記参照）。

アレクセンコ氏は刑期を終えるため刑務所に移送される可能性が高いが、フォーラム18は移送時期や移送先については明らかにしていない。イバノフランクウスクの捜査刑務所の電話は、2月27日に応答がなかった（下記を参照）。



ヴィタリー・アレクセンコ
© ヴィタリー・アレクセンコ

ウクライナ警察は、46歳のキリスト教良心的兵役拒否者ヴィタリー・アレクセーエンコを拘留し、1年間の懲役刑を開始しました。

他にも、「人を殺したくない」と軍隊に行くことを拒んだ人が逮捕されています。

ゼレンスキー大統領は国民に何を求めていますか？

ここまでをふりかえって

「沖縄戦の時、戦争をすすめる・続けていくために、必要なことは何だっただろう？」

あなたが、戦争をすすめていくうえで大事だと思った点はなんでしょう。

反対に、戦争をおこさないために大事だと思った点はなんでしょう？